|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ５年 | ５  | 式と計算  | 　　　組　　　番名前（　　　　　　　　　　　　　） |



次の問題に答えましょう。

　①　　　　に最もふさわしい数を答えましょう。

８．４

５．３

ア　４．７＋８．４＋５．３＝（４．７＋　 ㋐　 ）＋ ㋑　　　　 ㋐（　　　　　）㋑（　　　　　）

４

イ　３．5÷０．２５＝（３．５×４）÷（０．２５× ㋒　　）　 ㋒（　　　　　）

②　□－３．６＝７．９　の□はどんな計算で求められるか答えましょう。 （　　　　　　　　　　）

（7.9＋3.6）

たし算

③　次の式は、何の代金を表していますか。右の絵をみて答えましょう。

リンゴ1個

１５０円

ぶどう1ふさ

４８０円

バナナ1本

６０円

（例）バナナ５本の代金

　　ア　６０×５　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　イ　１５０＋４８０

（例）リンゴとぶどうのひと組の代金

　　　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）



たいちさんの学級では、体育の時間に５０ｍハードル走を行っています。

はじめに、５０ｍ走のタイムをはかり、そのタイムをもとに５０ｍハードル走の目標タイム

を決めることになりました。たいちさんの５０ｍ走のタイムは、９．３秒です。

　５０ｍハードル走の目標のタイムは、次の式で求めることにします。

５０ｍ走のタイム ＋ ０．５（秒） × ハードルの数 ＝ 目標のタイム

 ハードルの数を３台にしたとき、目標のタイムは何秒になるか、先生が次のように説明しました。

先生

この式で「０．５(秒)×ハードルの数」の部分は、ハードルをこえるときふえる分の時間です。

ハードルが３台のとき、ハードルをこえる時間は、０．５×３＝１．５（秒）です。

式にあてはめると、９．３＋０．５×３＝１０．８だから、目標タイムは１０．８秒です。

（1）ハードルの数が４台のとき、目標のタイムは何秒ですか。先生の説明を参考にしてかきましょう。

（例）ハードルが４台のとき、ハードルをこえる時間は、０．５×４＝２（秒）です。

　　　式にあてはめると、９．３＋０．５×４＝１１．３だから、目標タイムは１１．３秒

　　です。

　たいちさんは、目標のタイムを達成することができたので、そのことを先生に伝えました。すると、先生が次のように言いました。

よくがんばっていますね。目標が達成できたので、新しい次の目標を立てましょう。

ハードルの数をふやす方法もありますが、今日は、５０ｍハードル走の目標のタイムを求める式をつくりなおしてみましょう。たとえば、このように変えてみるとどうかな？

（もとの式）　５０ｍ走のタイム ＋ ０．５(秒) × ハードルの数 ＝ 目標のタイム

（新しい式）　５０ｍ走のタイム ＋ ０．４(秒) × ハードルの数 ＝ 目標のタイム

（2）たいちさんは、新しい式では、０．５だったところが０．４になっていることに気づきました。

　　 この０．５や０．４はどのような時間を表している数と考えられますか、言葉や数を使ってかきましょう。

（例）０．５や０．４は，ハードル１台あたりにふえる時間であると考えられます。